

# 地質ニュース

昭和 43 年 4 月

第 164 号

1968

解 説	「きん」のはなし ①	高 島 清	1
トピックス	多色刷地質図の褪色について	田 中 憲 一	6
	貝化石を中心とした海洋古生態学への道 ①	大 山 桂	14
	ダイヤモンドのおいたち ③	砂 川 一 郎	22
	沖縄の家庭燃料事情と天然ガス ①	福 田 理	36
講 座	地球化学の話 ⑦ 同位体地質学 ③	倉 沢 一	46
海外事情	アンデス銅資源地帯空中予察調査 ⑤	松 野 久 也	55
	学会 掲 示 板		13
	地学と切手	堀 内 恵 彦	45
	地質調査所発行の各種地質図名一覧		64

## 編 集 地 質 調 査 所

### 表 紙 の 写 真

#### 安山岩の柱状節理 (能登路 8)

最近の建設ブームを反映 能登半島でも各所に山肌を削った採石場をみかける。それらの多くは 第三紀の安山岩 しかも溶岩流か岩脈の部分にとられている。特有の柱状節理あるいは板状節理が 人工的に切りとられてできた崖に露出し しばしば特異な景観と絶好の地質観察の場を与える。内浦海岸の鶴川から穴水に至る 山あい寄りの国道の時に近い高内畑採石場の露頭は それらのうちで規模の大きさと柱状節理の発達が目ごとなことでは第一級のものであろう。角材がびっしりと集まったような状況は まさしく材木岩とでもいった表現がぴったりである。柱状節理は溶岩が固結する際 溶岩流なら地面に 岩脈なら側壁に垂直な方向に生じる。したがって 節理の方向から岩脈の貫入方向や 溶岩層の傾きを知り得ることもある。(盛谷智之)

発 行 株式会社 実業公報社